

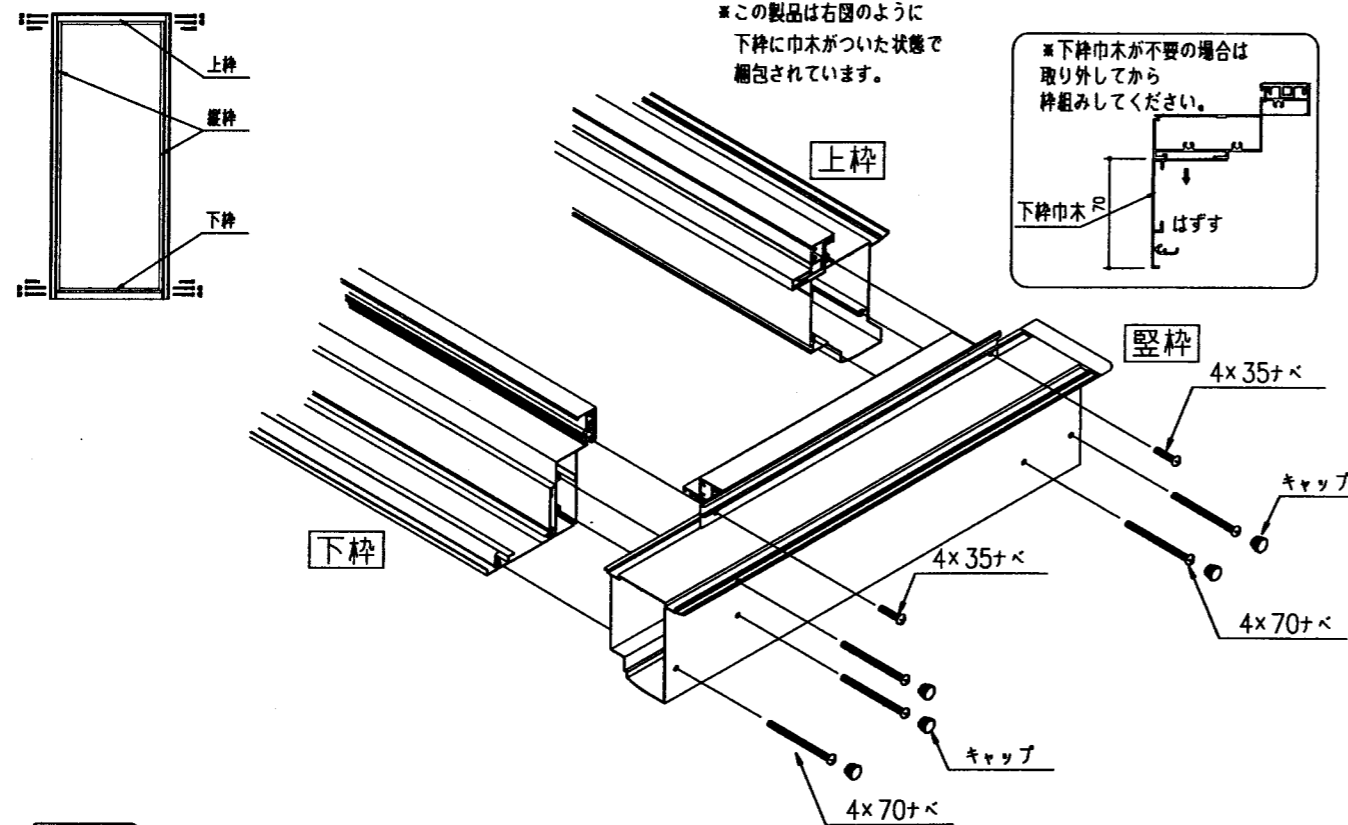
絵表示	意味
	注意 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	お願い 「必ず行なっていただく事」を示しています。

枠タイプ	内容物		
らんま無し	1	上枠	1
	2	下枠(巾木付)	1
	3	縦枠	2
	4	溝蓋ぎカバー	4
	5	ピボットヒンジ	1
	6	ビスセット	1

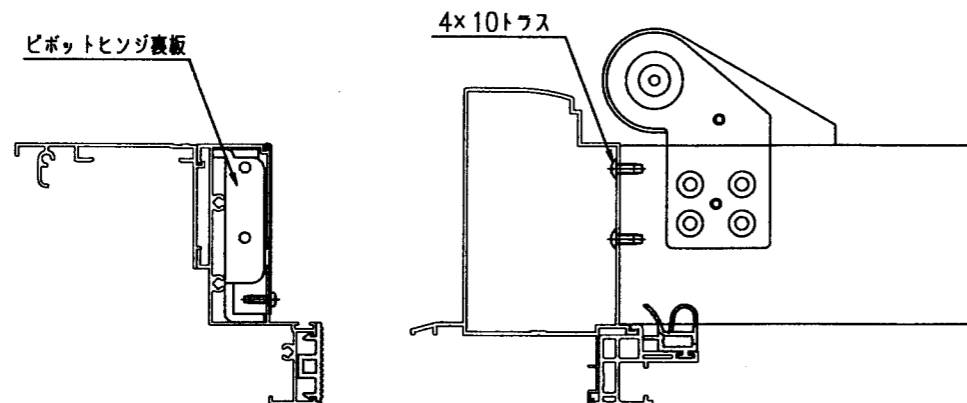
- お願い** 組立ビス、木ビスは確実に締めこんで下さい。
 【1】図はすべて右勝手を示していますが、左勝手も同様に組み立てて下さい。
 【2】組立前に内容物を確認してください。(右表を参照してください。)
- お願い** この説明書はドアを取付ける方へお読みください。
 【1】錠セット・ドアクローザー・ピボットヒンジの取付・調整は、それぞれに同梱してある説明書をご覧ください。
 【2】躯体への取付寸法はカタログを参考にしてください。
- 注意** 危険防止の為、ドアの建て込み、及び躯体への取付は必ず二人以上で行なってください。

1 枠の組立て

●らんま無しタイプ

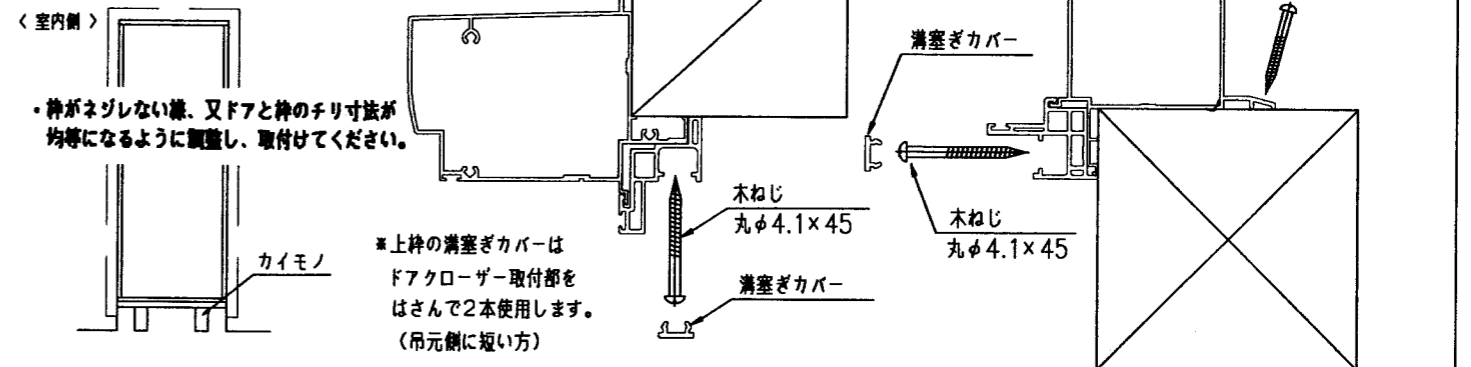


- お願い** 組立の際、ピボットヒンジ裏板に縦枠から必ずビスを巻ってください。下部ピボットヒンジには大きな荷重が加わるため必要となります。



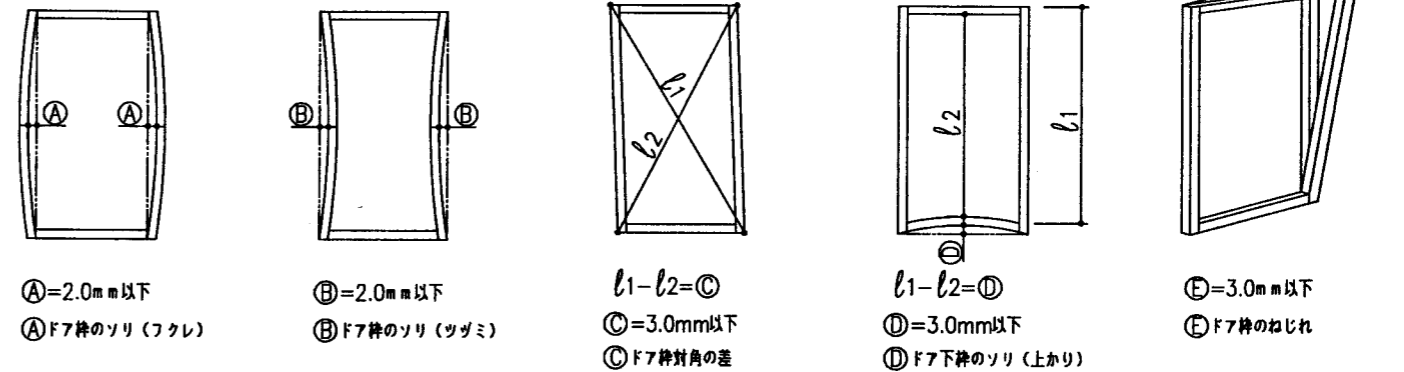
2 躯体への取付

- お願い** 下げ取り、水準器等で開口部を正しく調整し、水平、垂直対角寸法及び、ネジレのないことを確認して下さい。

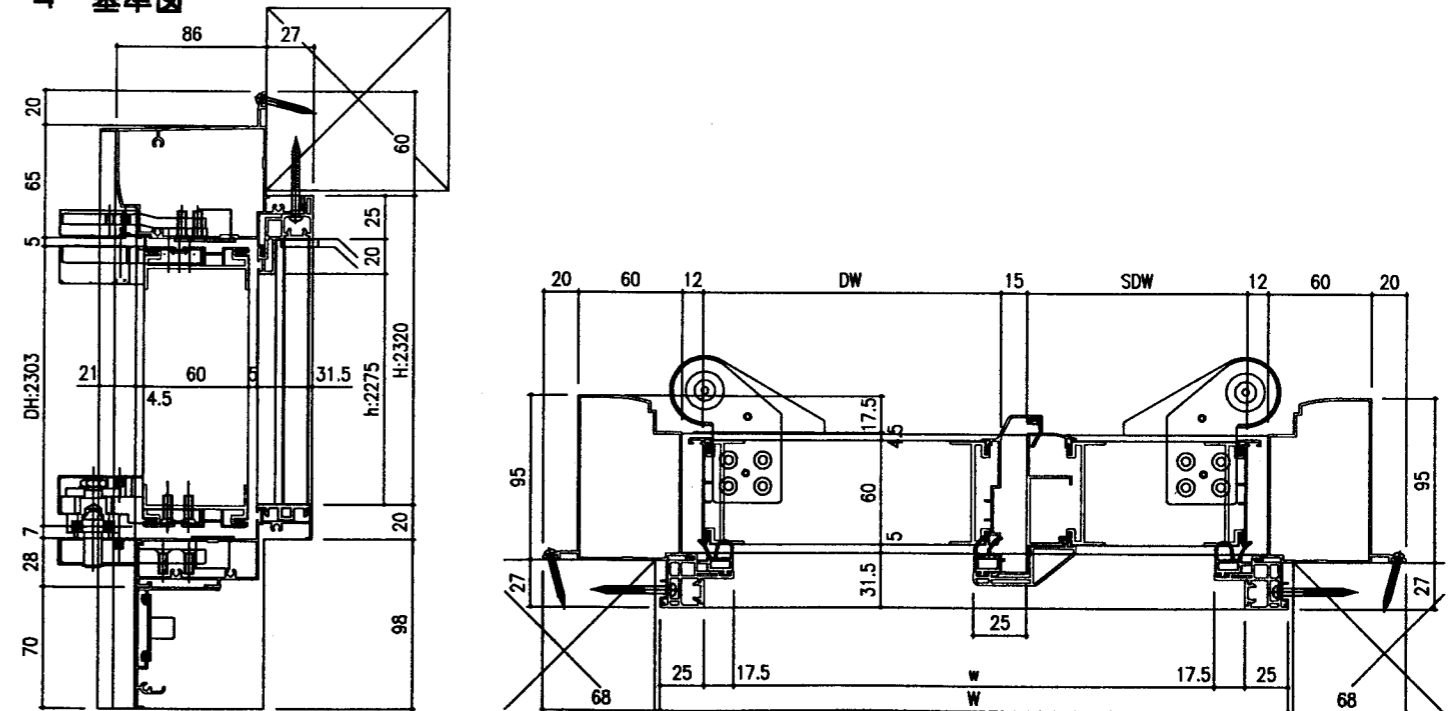


3 ドア枠について

ドア枠取付時には、以下の寸法をお守りください。性能・開閉に支障をきたす他、扉の吊込みに支障をきたすおそれがあります。



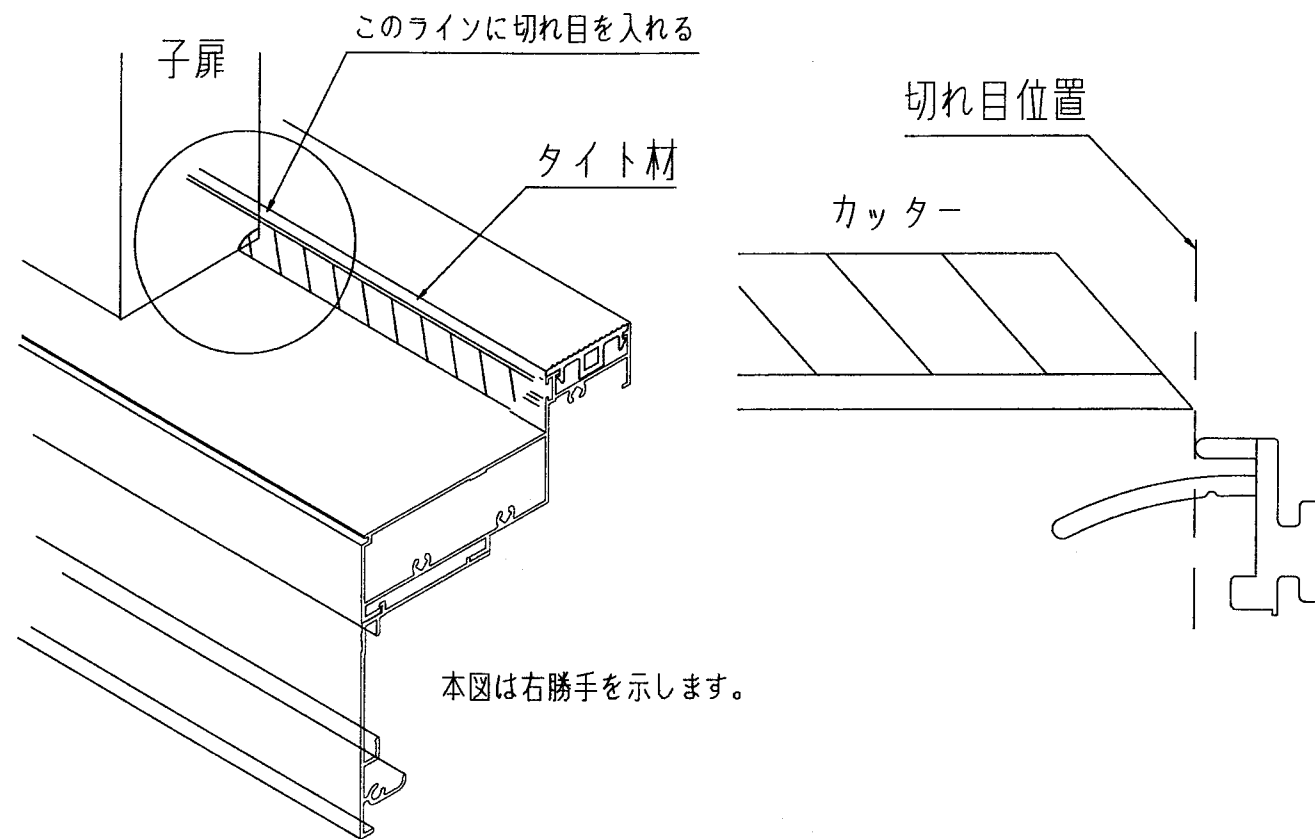
4 基準図



5 下枠タイト材の切り込み（親子タイプのみ）

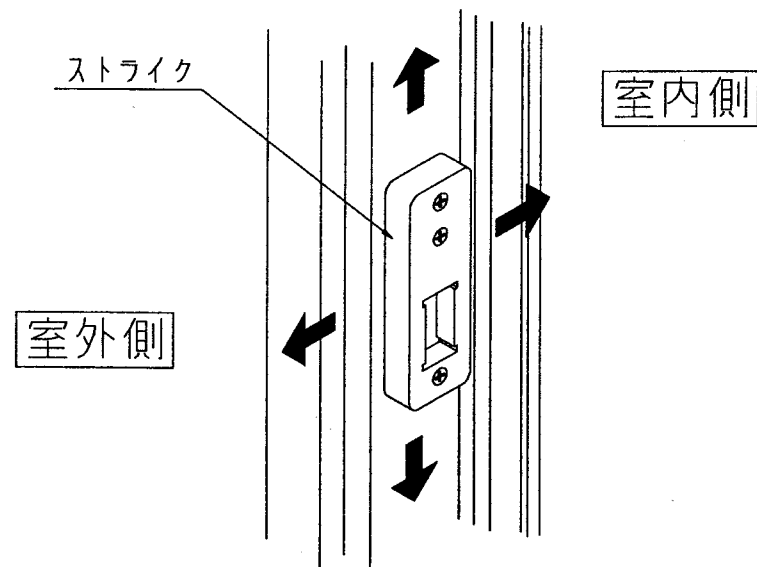
お願い

- 親子タイプのドアの場合は右図のように（子扉とタイト材の重なるラインで）タイト材にカッター等で切れ目を入れてください。



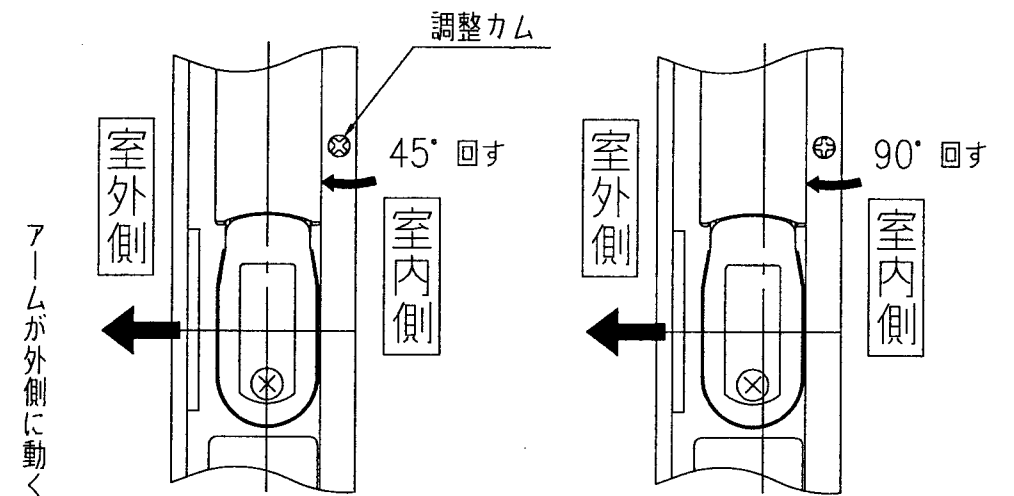
6 ストライクの調整

- ストライクの調整は、下図の要領で取り付けねじをゆるめ、上下前後（室内・室外側）にずらし、ドアがガタつかずラッチがスムーズにかかる位置に固定して下さい。



7 ガードロックの調整

- ガードロックの調整は下図の要領で行って下さい。
- 下図の調整カムを + ドライバーで時計回りに45°回すと 1.5mm さらに45°回すと 3.0mm 調整できます。
- ※ 調整カムを初めの位置から無理やり反時計回りへ回したり、初めの位置から90°以上無理やり回さないで下さい。調整カムが壊れ、調整ができなくなる事があります。



本図は右勝手を示します。

上記方法にて調整が効かない場合は下記の方法も参考に調整して下さい。

- ガードロック取付皿ビスを取り外し（3本）、ガードロックを取り外して下さい。
- 裏板調整ビスをゆるめて裏板を室内外にずらし調整して下さい。

